

# 「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜7月の学校経営方針＞

## 【評価と課題設定】…「反省」ではない「振り返り」を！

6月は、「校外学習」と「研修と課題」にスポットを当て、マネジメントサイクルを意識した取り組みを進めてきた。

＜目標とのズレの認知→原因究明→課題設定→手段選択→集団意思→実践→評価→改善＞という短期間のスパイラルを意識することはできただろうか？ 今月は評価の月である。重点目標等に対する1学期間のさまざまな取り組みを評価し、次なる課題を設定する月である。それによって「夏休み中にこれを準備しよう！」と考え、「2学期はこれに組みあわせよう！」となっていくのである。

Wikipediaによれば、「反省」は、「①一般的には自分がしてきた行動や発言に関して振り返り、それについて何らかの評価を下すこと。②自分の行動や言動の良くなかった点を意識しそれを改めようと心がけること。③自己の心と理状態を振り返り意識されたものにする。」となっている。学級や部活、委員会等で行う反省会は①や②が多かったのではないかと。①や②は、「できなかった自分」や「ダメだった自分」にスポットを当て、「～しないようにする。」「～を改善する。」といった言葉に繋がってくる。今月行っていただきたい「**振り返り**」では、③を実施し、前向きな考えで次の行動につなげて欲しい。例えば、「チャイム前着席に取り組んだが、2週間取り組んで一日も全員でできた日がつくれなかった。」→「声掛けしても聞いてくれなくて、けんかになる。」→「言っても無駄だし、人間関係が悪くなるから言わない。」となり、変化はつけれない。「取り組む前は学年の80%がチャイム前に座っていなかったが、2週間で座れる人が95%以上になる日が多くなった。」→「いい声掛けができた。」→「すごい学年」→「次は、無言清掃に取り組んでみよう！」となり、次のステップにつながってくる。

## 【ブランド構築】のための取り組み

### （1）授業改革（主体的・対話的で深い学び）…授業評価の活用

- 5月に実施した授業評価による授業改善の見える化。（学習課題・板書・グループ・振り返り）

### （2）心の教育（道徳、いじめ、生命、思いやり）…「命の尊さ」「思いやり」の重点的な取り組み

- 「いじめゼロ」運動の推進（いじめアンケート）

### （3）安全安心（健康・体力向上、メンタル、防災、食育）…メンタルヘルス対策の推進

- 聴き取りや相談活動による実態把握と改善

### （4）生徒主体（学級、行事、生徒会、部活）…生徒によるマネジメント意識の育成

- 生徒会や委員会等による学校改善の推進

### （5）三大伝統（挨拶、清掃、歌声）…可視化された具体的な取り組み推進

- 「美しく響く歌声」→全校歌声交歓会による歌声活動の意識化

## 【スキルの向上】のための学び

（1）「わかる・できる授業」…「大丈夫？」「教えて！」「いいよ！」という**学ぶ関係**を各教科で作り出す。

（2）「インクルーシブ教育」…「みんな違ってみんないい」という**認め合う関係**を各学級で作り出す。

（3）「考え議論する道徳」…ねらいに迫る**主発問を吟味**し、対話の場面を設定する。

今月は変化（成長）を可視化する月である。4月から三カ月間さまざまなことに取り組んできたことを見取る月である。授業は、委員会活動は、学級の係活動は、掲示物は、部活動は、給食の残菜は、挨拶は、清掃活動は、歌声は、どのように変わってきたのかを可視化し、次にステップアップさせていきたい。集団としての変化（成長）を創り出すのは、課題である。課題には「問題になっていること」と「目指していること」がある。前者を意識して改善するよりは、何のために、何を指すのかを考えて取り組む方が行動化しやすいものである。各分掌で「目指すもの」意識したい。